

# 看護×テクノロジーに関する国際セミナーを開催しました

2023年9月17～21日にかけて、米国ワシントン州立大学より2名の看護学研究者を招き、セミナーと研究交流を開催しました。

お招きしたRoschelle Shelly Fritz先生とCatherine R. Van Son先生は、看護学を専門としながら、高齢者ケアにおけるテクノロジーの活用とスマートホームに関する先駆的な学際研究を米国で推進しています。

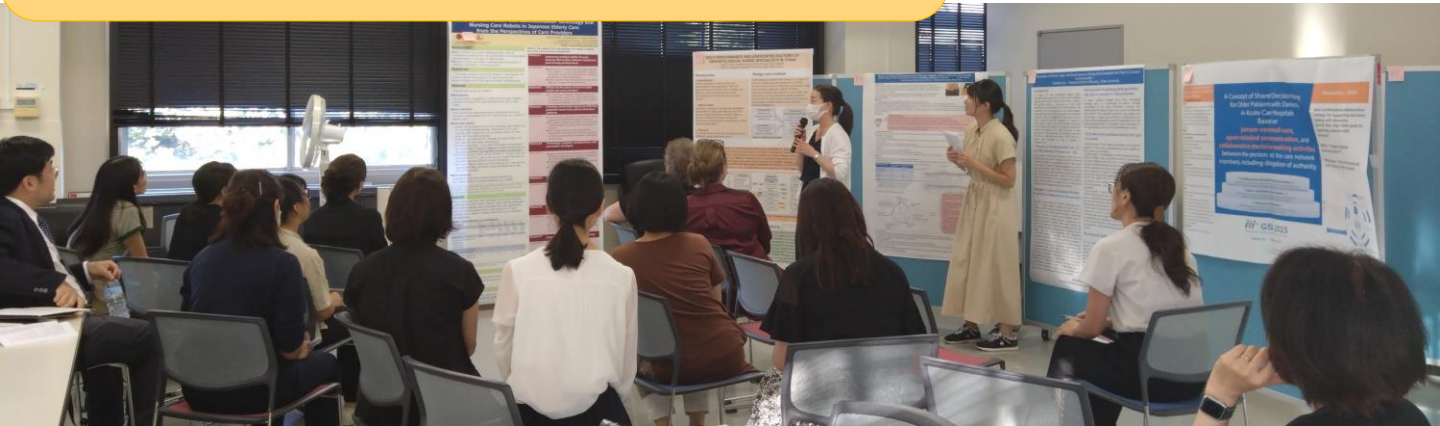
9月17日は、「Gerontechnologyから高齢者ケアのイノベーションの可能性を探る」というテーマで、日本老年看護学会とアジア/オセアニア国際老年学協会（International Association of Gerontology and Geriatrics; IAGG-AOR）の後援を受けて国際公開セミナーを開催し、会場とオンラインを合わせておよそ100名が参加し、高齢者ケアの実践から研究、技術・倫理・文化まで幅広く充実したご講演をいただきました。



9月18日は、「Nursing & Technology」と題し、大学院生を中心におよそ20名が参加し、テクノロジーを高齢者ケア領域で活用する上での基礎知識と倫理的課題について、参加者同士のディスカッションを交えながら、ご講演いただきました。

また、19～21日にかけて、千葉大学病院や高齢者ケア施設の訪問、正木教授研究グループとのミーティング、研究院長への表敬訪問を行い、研究・教育における今後の交流と共同に向けて話し合われました。

# 大学院生対象学内セミナー Nursing & Technology



# 研究院長への表敬訪問

